



阿武郡報

大正五年一月三十一日
第十號

目次

- | | | | | |
|---|-------------------------------------|--|--|---|
| 勸業 | 兵事 | 財教 | 庶務 | 官廳辭令 |
| ●養蠶戶數 ●夏秋蠶繭實收高 ●屑繭整理傳習
開設狀況 ●村農會基本財産 ●大正四年度村
農會々費徵收狀況 | ●將校生徒志願者 ●將校演習 ●召集實施事務
檢閲 ●海軍兵檢査 | ●大正四年度后縣稅成績
●市町村立小學校教員俸給支出額調 ●市町村立
小學校教員月俸平均額(勤務別) ●市町村立小學
校學級數百二對スル本科正教員配置歩合 ●教育
成績ノ全國ニ於ケル本縣ノ地位 ●兒童出席歩合 | ●町村長集會 ●町村豫算臺帳 ●贈位辭令傳達
●郡設地方改良講演會 ●大正四年度秋季清潔方法
消毒方法施行成績表 | ●篤行者表彰
●郡立女學校職員異動 ●町村吏員異動 ●小學
校教員異動 ●神職異動 |

阿武郡役所發行

篤行者表彰

大正五年一月四日政治始ノ當日我阿武郡地福村伊達サワナ
ル者黒金山口縣知事閣下ヨリ表彰ノ榮ヲ享ク是獨リ其ノ家
門ノ榮譽タルノミナラズ社會風教ノ矯化ニ資スル所洵ニ大
ナリト謂ツベシ茲ニ其ノ名譽アル賞狀ト其ノ篤行ノ事蹟ト
ヲ掲ゲ以テ本誌新春ノ卷頭ヲ飾ル

表彰狀

阿武郡地福村平民

伊達サワ

資性温良姑ニ事へ善ク道ヲ竭シ夫病歿後姑病ニ罹リ起居意ノ如ク
ナラズさわ家政ヲ荷ヒ傍ヲ看護頗ル努メ孝養益々怠ラズ且婦女子
ノ身ヲ以テ克ク勤儉力行公同勞役ニ服シ遺債ヲ償還シ家運ヲ挽回
スルニ至ル洵ニ奇特トス依テ木盃壹組ヲ賜ヒ其ノ善行ヲ表彰ス

大正五年一月四日

山口縣知事 正五位 黒金泰義

勳四等

篤行事跡

阿武郡地福村平民

伊達サワ

明治十年六月一日生

資性温良ニシテ素行方正父母ニ仕ヘテ孝順弟妹ヲ遇ス
ル友愛明治三十一年齡二十二歳ニシテ伊達家ニ嫁ス當
時家ハ姑い夫利介ノ二人ノミニシテ其姑ニ仕ヘテ至
孝怠ラズ夫ニ接スルコト頗ル從順ナリ伊達家素ト家計
裕ナラズ剩ヘ入嫁當時既ニ負債數百金ヲ算ス夫利介明
治三十二年稅務屬ニ任セラレ萩山口室積ノ各稅務署ニ
職ヲ奉ジツ、アリシガ薄給ニシテ到底負債償却ノ目按
立タザルヲ以テ利介此ノ窮狀ヲ挽回センガ爲臨時臺灣
土地調査局ニ轉勤セシモ尙送金ノ餘裕ヲ生ゼズ終ニ明
治三十六年彼地ニ於テ死亡スルニ至レリ利介臺灣ニ轉
勤ノ命アルヤ一家ヲ舉ゲテ赴任セントモ母之ヲ喜
ハザルノ色アリ於茲さわ夫ヲ勵シテ單身赴任セシメ己
レ夫ニ代リ家政ヲ料理シ姑ニ孝養ヲ盡シ幼兒ノ保育ニ
努メツ、アリシガ夫彼地ニ歿スルヤさわノ愁嘆一方ナ
ラズ加フルニ負債償却ノ大任繫テさわノ肩ニアリさわ
渾身ノ勇ヲ鼓シ専心家運ノ挽回ヲ計リ爾來養蠶ヲ營ミ

年々原紙一枚乃至三枚ノ掃立ヲナスモ上簇期ノ外敢テ
他人ヲ使役セズ桑園ノ手入等亦自ラ之ニ當リ朝ニ星ヲ
戴キテ出デ夕ニ月ヲ踏ンデ歸リ夜ハ深更ニ至ル迄賃仕
事又ハ家事ニ勵ミ一面實家ヨリ少額資本ヲ仰ギテ煙草
其他ノ小賣營業ヲナシ又日常自家所用ノ薪ハ自ラ之ヲ
樵リ衣服ヲ質素ニシ器用ヲ儉朴ニスル等勤儉力行男子
モ遠ク及ハザルモノアリシガ彼ノ奮勵活動ハ遂ニ去ル
明治四十三年ヲ以テ負債全部ノ償却ヲ完フスルニ至レ
リ是ヨリ先キ明治卅八年三月姑激烈ナル癩麻室斯病ニ
罹リ起居意ノ如クナラズさわ厚キ同情ヲ以テ克ク慰安
ニ努メ看護ニ從事シ時ニハ名醫ヲ訪ヒ或ハ水垢離ヲナ
シテ神佛ニ祈願ヲナス等専ラ之ガ平癒ニ努メシカバさ
わノ一念貫徹シタリケン數ヶ月ニシテ病漸ク癒ユルニ
至レリさわ夙ニ奉公心ニ富ミ公課ノ滯納ナキハ勿論道
路補理掃除林野防火線設置其他慣例ニ依ル夫役等ニハ
自ラ出デ、克ク働キ入退營者ノ歡送迎會等ニ於テ亦彼
ノ姿ヲ見ザルコトナシトイフ斯ク姑ニ仕ヘ孝養ヲ怠ラ
ズ纖弱ナル身ヲ以テ克ク家政ヲ整理シ公事ニ竭クシ殊
ニ十有餘年ノ間孤閨ヲ守リ意思愈々鞏固ニシテ亡夫ノ
追弔ニ餘念ナキ等其ノ純孝節義洵ニ奇特ノ者ナリトス

阿武郡報

官廳辭令

郡立實科高等女學校職員異動

山口縣阿武郡立實科高等女學校教諭

坂口五郎

長崎縣立對馬中學校教諭ニ任ズ

六級俸給與 但當分月俸四十八圓

長崎縣

町村吏員異動

退職ノ部

退職月日 町村名 職名 氏名
 十一月廿五日 生雲村 助役 庄野小太郎

小學校教員異動

新任ノ部

新任月日 校名 職名 俸給 氏名
 十一月廿五日 白水 准訓導 四級下俸 上利賢介

十一月廿九日 越ヶ濱 准訓導 六級下俸 松本二郎
 十一月廿九日 彌富 訓導 八級下俸 伊藤チカ
 十一月廿二日 高 准訓導 九 圓 倉増公資
 十一月廿五日 越ヶ濱 全 九 圓 笹井怡美
 十二月十一日 高 侯 全 八 圓 君谷喜與子
 十二月十八日 明木 訓導 九級上俸 堀 千代

轉任月日 轉任校舊任校 職名 俸給 氏名
 三月四日 篠生 生雲 訓導 八給下俸 田中英作

增俸月日 校名 職名 增俸 現俸 氏名
 十二月廿九日 東 准訓導 十 圓 池田 秀夫
 十二月廿九日 椿 西訓導 十級上俸 十級下俸 堀 熊吉
 十二月廿九日 全 全 九級下俸 十級上俸 安野 タケ
 十二月廿九日 全 全 九級上俸 九級下俸 岩崎 梅一
 十二月廿九日 全 全 九級下俸 十級上俸 佐々木藏一
 十二月廿九日 全 全 九級上俸 九級下俸 鈴木 勝治
 十二月廿九日 全 全 九級上俸 九級下俸 岡田チサト
 十二月廿九日 全 全 九級上俸 九級下俸 古川 禎三
 十二月廿九日 全 全 九級上俸 九級下俸 重松 幸江

十二月廿九日 野訓導 十 圓 柴田 君子
 十二月廿九日 全 全 七級下俸 八級上俸 三戸 右一
 十二月廿九日 全 全 九級上俸 九級下俸 内田ツチャ
 十二月廿九日 全 全 六級上俸 六級下俸 白井 次郎
 十二月廿九日 全 全 九級上俸 九級下俸 佐々木吉藏
 十二月廿九日 全 全 三級上俸 三級下俸 中村 修治
 十二月廿九日 全 全 七 圓 藤原 虎一
 十二月廿九日 全 全 九級上俸 九級下俸 阿座上チセ
 十二月廿九日 全 全 十級上俸 十級下俸 横山 正一
 十二月廿九日 全 全 七 圓 小野 俊助
 十二月廿九日 全 全 八級下俸 九級上俸 高松 鶴吉
 十二月廿九日 全 全 四級下俸 五級上俸 小野 フユ
 十二月廿九日 全 全 九級上俸 九級下俸 澤村 於京
 十二月廿九日 全 全 五級下俸 六級上俸 宮内 リヨ
 十二月廿九日 全 全 四級上俸 四級下俸 仁保 龜一
 十二月廿九日 全 全 五級下俸 六級上俸 林 繁延
 十二月廿九日 全 全 八級上俸 八級下俸 奥川 壽亮
 十二月廿九日 全 全 八級下俸 九級上俸 岩城 四郎
 十二月廿九日 全 全 七級下俸 八級上俸 福場 邦二
 十二月廿九日 全 全 八級上俸 八級下俸 山本 敏造

十二月廿九日 多 磨訓導 九級上俸 九級下俸 三浦 アサ
 十二月廿九日 全 全 八級下俸 九級上俸 大塚 サメ

退職月日 退職事由 校名 職名 氏名
 十二月廿二日 入營ノ爲高 侯 准訓導心得 高村 誠一
 十二月廿三日 士官候補生 採用越ヶ濱 全 全 河野匡四郎
 十二月廿五日 家事上ノ都合 全 全 訓導 厚東 刻夷
 十一月卅日 病 氣高 侯 訓導 山縣 堅次
 十二月四日 家事上ノ都合 明木 全 全 張 ツユ
 十二月四日 家事上ノ都合 明木 全 全 山本 政子

退職年月日 神社名 職名 氏名
 十二月廿五日 田万崎村社 八幡宮 社掌 福場直人

地方行政

王者ハ民人ヲ以テ天ト爲ス

町村長召集

一月十二日及十三日ノ兩日町村長ヲ郡衙議事堂ニ召集シ左ノ事項ニ關シ指示スル所アリタリ

指示事項

一、自治事務ノ改善ニ關スル件

本官赴任後各種ノ方面ヨリ郡下町村ノ情勢ヲ查察スルニ各地概ネ人情醇朴ニシテ自治當事者亦能ク眞摯切實其ノ職ニ當ルノ風アルハ喜ブベキコトナリト雖モ自治事務ノ整理擴張ノ方面ニ於テ遺憾トスルモノアルノミナラズ各地ヲ通シ未ダ新興ノ機運ヲ見ルコト能ハザルノ感アルハ洵ニ痛嘆ニ禁ヘザル所ナリ各位宜シク自治大勢ノ嚮フ所ニ察シ國運發展ノ實情ニ鑑ミ大ニ力ヲ致シ自治民育ノ發達ヲ圖リテ自治體ノ基礎ヲ鞏固ニシ國家組織ノ根本ヲ堅確ナラシムベキヤウ一層ノ努力ヲ望ム

左記事項ハ自治事務ノ改善ヲ期スルニ於テ緊要ナルモノト認メ特ニ各位ノ努力ヲ促スモノナリ各位克ク此ノ意ヲ體シテ其實行ニ努力セラレタシ

一、町村史編纂ト町村圖ノ作製

町村各貴重ナル歴史ヲ有ス其歴史ヲ審カニセズシテ漫然施政ノ事ニ當ルガ如キモノアルハ決シテ稱スベキコトニア

四、記録ノ編纂ト保存方法ノ改善

記録ノ分類ハ大正二年十一月山口縣訓令第七十一號文書保存規程ニ基キテ其ノ分類ヲ適當ニシ且ツ永年五年ノ區別ヲ慎重ニシ其ノ編綴保存ハ之ヲ縱式トナシ秩序配列ノ整理ニ留意シ重要ナル記録簿冊ニハ總クロ

トスノ表紙ヲ附スルヲ要ス

五、町村勢調査ノ完成

町村勢調査ハ昨年末ヲ以テ完了スベキ筈ナルニ未ダ其完了ヲ見ル能ハザルモノ多キガ如シ其調査ノ容易ナラザルハ之ヲ推スルニ難カラザルモ吏員共同シテ熱心事ニ膺レバ之ヲ調査完了スルニ決シテ難事トセザルベシ遅クモ本月末ヲ期シ全部ノ完成ヲ期スルヲ要ス完成後町村勢調査ハ材料ヲ得ルニ隨ヒ速ニ之ヲ追加記入スルコトヲ念トセザルベカラズ

六、示談會ノ開催ト納稅ノ督勵

每年少クモ二回以上示談會ヲ各部落ニ開キ村長又ハ助役並ニ校長等之ニ臨ミ其ノ町村ノ情勢事務事業ノ内容ニ就キ熱心ニ懇切ニ之ヲ說示シテ自治思想ノ啓發ニ努メ且ツ納稅觀念ノ涵養ニ努メ滯納ノ惡弊ヲ根絶セラ

ルベシ示談會ノ開催ニ就キテハ其ノ集合ノ歩合說

ヲズ宜シク相當ノ計畫ヲ立テ速ニ町村史ノ編纂ヲナスヲ要ス町村圖ハ最モ之ヲ明確ニ作製シ方位縮尺比例調製年月調製者氏名等ヲ明記シ概ネ十年目毎ニ之ヲ改製シ保存スルヲ要ス

二、役場事務室ノ構造改良

町村役場ノ構造ハ之ヲ土間制度トシ町村民土足ノ儘ニテ其ノ用ヲ辨ズルヲ得セシメ執務時間外ト雖モ所用ヲ達スルニ便宜ヲ與フル等常ニ懇篤親切ニ事務ヲ處理スルヲ要ス往々收入役ノ事務室ヲ區劃スルモノアリ速ニ其ノ區劃ヲ撤廢シ且ツ採光通風ニ留意シ氣持ヨキ建物ヲラシムルヤウ注意スルヲ要ス

將來ニ於テ役場ヲ改築セントスルモノアラバ其ノ建築圖ニ就キ郡衙ニ打合セテナスヲ要ス

三、事務簡捷ト口頭受理

事務簡捷ノ事ハ各位ノ切實ナル研究ニ依リ實行セラレツ、アルヲ信ズルモ此上一層ノ研究ヲ重ネテ繁文褥禮ヲ省キ事務ノ簡約ヲ圖ラレタシ法令例規ノ加除訂正ハ決シテ之ヲ等閑ニ附スルコトナク毎ニ能ク之ヲ整理スルニ努メ執務ノ敏捷ヲ期セラレタシ尙口頭受理ハ出來得ル限り之ヲ擴張シテ簡易輕便ニ處理スルヲ要ス

示ノ要項等ヲ部落ノ揭示場ニ摘記シ一般ニ告知セシムルヲ要ス

七、善行者表彰ト各種機關ノ連絡

一善ヲ學ゲテ萬善ヲ獎ムルハ治道ノ要諦ナリ之ヲナスニ當リテハ其ノ調査ノ慎重ナルヲ要スルト其ノ表彰ノ方法ヲ誤ルコトナキヲ期スルコト大切ナリ山崎講師ノ講演ニ依ル福井縣松原村ノ表彰方法ノ如キ採テ以テ範トナスニ足ル能ク能ク注意スベキコトナリ又自治事務ノ改善ヲ期スルニ於テハ町村内各種機關ノ連絡ヲ圖ラザルベカラザルヤ論ナシ各位宜シク教育家警察官神職僧侶篤志家其他各種團體長ト常ニ調和協同シテ治績ノ實ヲ擧グルニ努力セラレタ

二、町村財務ノ整理ニ關スル件

町村財務ノ整理ニ關シテハ各位常ニ周到ナル注意ヲ加ヘ之ガ運用ヲ圓滑ニシ其處理ヲ正確ナラシムルニ多ク遺憾トスルモノナキガ如キモ仔細ニ之ヲ講究調査スルニ於テハ尙改善ヲ加フルノ餘地ナキニアラザルベシ各位左記事項ヲ考量シテ財務ノ改善ヲ期シ豫算決算ノ編制處理ニ注意スルヲ要ス

- 一、其町村ニ於ケル經濟情態ヲ慎重ニ調査シ收入ノ計算ヲ確實ニシテ支出ノ案配ヲナシ事務事業ノ緩急ヲ考究シテ必要ナル事業ニ對シテハ所要ノ經費ヲ支出スルニ吝ナラザルベシ
- 二、收入役ノ保管スル現金ハ可成之ヲ銀行預金トナシ之ニ依リ得タル收入ハ町村ノ歳入ニ編入シ決シテ之ヲ暗々裡ニ使用スル様ノコトナキヲ要ス
- 三、現金ノ收入支出ハ其ノ都度之ヲ勵行スルコトニ留意セザルベカラザルハ勿論帳簿ノ整理ヲ等閑ニ附スルコトアルベカラズ必ズ即時其ノ整理ヲナスコトヲ心掛クベシ
- 四、自治事務提要ニ基キ必要ナル簿冊ノ編纂ト記録類縱式實行ト倉庫内ノ改造トニ關シテハ必要ナル經費ヲ計上シ實行ニ遺憾ナカラシムコトヲ要ス
- 五、教育費ニ關シテハ最モ深ク注意ヲ加ヘ可成經費ノ節約ヲ圖ルニ留意スルハ勿論ナルモ教育内容ノ改善ニ要スル資金ハ之ヲ支出スルニ吝ナラザルベシ特ニ教員給ノ增加年末賞與ノ増加(少シモ俸給月額加スル)ヲ實行シ教員待遇ニ注意スルヲ要ス設備ノ改善ヲ期スルニ於テハ特ニ左記各項ニ注意スベシ

- 能ハザル事情アルモハ當分ノ間其ノ慣行ニ依ルヲ妨グザルモ相當計畫ヲ立テ遅クモ今後三箇年度内ヲ期シ之ヲ一般町村費ニ依リ經營スルニ至ランコトヲ望ム
- ハ、道路ノ補修掃除ニ就キテハ常備工夫ノ設置ヲ望ム但シ地方ノ情况ニ依リテハ部落民共同作業又ハ青年會在郷軍人會若クハ小學校上級兒童等ヲシテ之ニ任セシメ常ニ路面ノ清淨修理ヲ圖ルベシ
- ニ、町村内河川ノ大小ヲ問ハズ少クモ毎年一回以上部落民又ハ青年會在郷軍人會等ヲシテ川浚ヲ行ハシメ水害ノ豫防ニ努メシムルヲ要ス
- 八、町村費ノ補助及獎勵費ニ關シテハ屢々指示又ハ注意シタル如ク具ニ其ノ事業ノ性質ト町村經濟ノ緩急トヲ斟酌シ補助ノ年限及方法等ヲ考慮シ永久補助ニ依頼スルノ弊ヲ根絶スルニ留意シ補助獎勵ノ目的ヲ明カニスルヲ要ス
- 九、法令ノ規定ニ從ヒ豫算ハ必ズ毎年二月末日迄ニ之ヲ議決ヲ了シ決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ收入役ヨリ交付ヲ受ケタル上ハ可成速ニ之ヲ審査シ町

- イ、學校用地ノ借地ハ町村財政ノ緩急ヲ量リ漸次之ヲ町村有トスベシ
- ロ、校舍及運動場ノ不完全ナルモノ又ハ狹隘ナルモノニ就テハ財政情態ヲ考量シ成ルベク速ニ之ヲ改築擴張スルコトヲ念トスベシ
- ハ、教授用器械器具ノ整頓設備ニ就キテハ職員兒童ノ採集又ハ製作シ得ベキモノハ材料費ヲ提供シテ之ヲ整備セシメ町村財政上一時ニ之ヲ設備スルコト能ハザルモノハ適宜繼年ニ完成スルノ方法ヲ立テ所要ノ教辦ヲ完備スルニ努ムルヲ要ス
- 六、勸業費ニ關シテハ概シテ從來經費ノ支出少額ナルガ如シ生産増殖ヲ促スニ於テ必要ナル費用ハ之ヲ支出スルニ吝ナラザルベシ
- 七、土木費ニ關シテハ左記事項ニ注意スベシ
イ、國縣道及小徑ヲ除ク外一般公衆ノ用ニ供スル里道及橋梁ハ之ヲ町村ノ經營トナスベシ
ロ、從來ノ慣行ニ依リ町村内一地方ノ不均一課稅又ハ特別寄附ニ依リ維持スル道路橋梁ノ如キモノニシテ俄ニ之ヲ一般町村費ノ支辨ニ移スコト

- 村ノ認定ヲ遅レザル様心掛クベシ
- 一〇、豫算ノ金額計上ハ特別ノ事情アラザル限りハ圓位ニ止メ然ルベシ豫算決算ノ文字ハ可成正楷明瞭ニ印刷ヲ鮮明ナラシムベシ
- 一一、例月檢査ヲ慎重ニシ臨時檢査ハ毎年二回確實ニ之ヲ行フベシ
- 一二、町村ハ豫算内ノ支出ヲナス爲一時ノ借入金ヲ爲シ得ルハ法ノ認ムル所ナリト雖モ滞納ノ整理ヲ爲サズシテ一時ノ借入金ヲ爲スハ正當ニ納稅シタルモノニ對シテハ一時ノ借入金ノ利子ヲモ負擔セシムル結果ヲ生シ背理ノ甚シキモノナリ注意スルヲ要ス
- 三小學校舍及運動場ノ設備ニ關スル件
本郡小學校ノ校舍設備完備セザルモノ尙少カラズ運動場ノ狹隘ナルモノ亦多シトス校舍及運動場ノ完備セザルハ教授訓練上ハ勿論兒童身體養護上ノ支障大ナレバ各町村ニ於テハ豫メ之ヲ經營ノ成案ヲ具シ兒童心身ニ關係最モ深キ部分ヨリ逐年完成ヲ期スベシ而シテ一般施設方ハ常ニ兒童本位タルコトヲ失ハザランコトヲ要ス又例ハ一部分ノ施設ナリト雖モ細心

ノ注意ヲ拂ヒテ教育上衛生上寸毫ノ遺漏ナキナ期セ
ラルベシ

尙校舍ノ完成セル向ニ於テハ就學兒童ノ增加及校舍
耐久年齡ニ考ヘ毎年必相當ノ建築準備金積立ヲナサ
ンコトヲ望ム

四 教授用器械器具標本繪畫類ノ備付ニ關スル件

教育内容ノ充實ヲ圖リ其ノ効果ヲシテ的確ナラシメ
ントセバ教授ニ要スル教辦ノ具備スベキコト必要ナ
リ然ルニ本郡各校ノ現況尙甚不足セルモノ多シト認
ム客年十一月小學校長集會ノ際學校ニ於テハ各學年
各教科所要ノ教辦ヲ調査シテ現在品ニ對照シ尙職員
兒童ノ採集又ハ製作シ得ベキモノハ之ヲ整備シ購入
ヲ要スルモノハ代價ヲ計上シテ町村ノ供給ヲ要求ス
ベク指示シ置キタレバ各町村ニ於テハ町村財政上一
時ニ之ヲ設備シ能ハザルトキハ可成短期間ニ完成ス
ルノ方策ヲ立テ以テ其完備ヲ期セラルベシ而シテ此
陳列室ハ唯學校用トシテ設備スルニ止マラズ青年其
他一般公衆ニ對シ隨時縱覽セシメ得ル小博物館ヲ
シメシコトヲ望ム

五 實業補習學校ニ關スル件

ナシ一度館内ニ入レバ古今東西ノ狀況ヲモ一覽シ得
ベキ施設ヲナスヘキコトハ亦曩ニ小學校長ニ對シ指
示セル所ナリ

注 意 事 項

一 基本財産造成條例ニ關スル件

町村及學校基本財産ノ造成條例ニ關シテハ屢々指示
又ハ注意スル所アリシモ未ダ條例改定ノ運ニ至ラザ
ルモノ多キハ遺憾トスル所ナリ右ハ可成速ニ其ノ改
定ノ手續ヲ了シ自治事務提要ニ依ル條文ノ改正並目
按表ノ確立ヲナスベキ様盡力セラレタシ

二 町村理事者並教職員ノ視察ニ關スル件

本郡ハ土地僻在シ交通不便ノ爲從テ日進ノ大勢ニ後
ル、コトアルヲ免レズサレバ町村吏員並學校教職員
ヲシテ可成優良ナル先進地方ノ狀況ヲ視察セシメテ
採長補短ノ實ヲ舉ゲシムルコト最モ必要ノコトナリ
トス町村經濟ノ許ス限リニ於テ其ノ視察旅費ヲ計上
シテ出來得ル丈ケ他郡他縣ノ視察ヲナサシムベク盡
力アラントヲ望ム

三 小學校及實業補習學校ノ實業科ニ關スル設備ノ件

小學校及實業補習學校ニ於ケル實業科ニ關スル設備

本郡ニ於ケル實業補習學校ハ椿、明木、佐々並、篠
生、嘉年、見島ヲ除クノ外ハ各町村已ニ之ヲ施設セ
ラル、モ尙女子ノミノ設置アリテ男子補習教育ノ設
ケナキ町村アリ(山田、三見、高俣、吉部、福川)
客臘青年團體ニ關シ指示セル所ニヨリ實業補習學校
ニハ丁年以下ノ青年全部ヲ就學セシメ小學校卒業後
ノ普通教育補習ヲナスト共ニ土地ノ情況ニ相應スル
實業上ノ智能ヲ授ケ其町村適良ノ後繼者ヲ養成スル
コトニ努メラレタシ

六 圖書館ニ關スル件

本郡内町村立圖書館ノ設置ヲナスハ萩、明木、地福、
徳佐、紫福ノ五ヶ町村ニ過ギズ圖書館ハ青年ノ修養
上最モ重要ノ機關ニシテ本縣ノ圖書館ハ全國ニ於テ
モ最推重セラレ居ル所ナレバ一層此普及ヲ圖ラント
トヲ望ム町村圖書館ハ敢テ規模ノ大ヲ望ムコトナク
又浩澗大冊ノ備付ヲナサシムルモ寧ロ日常處世上直
接裨益スベキ卑近ナル讀物ヲ備付ケ巡回書庫巡回袋
ヲ回送シテ闔村ノ閱覽ヲ旺ナラシムベシ而シテ圖書
館附帶ノ設備トシテハ町村勢乃至郡縣國勢及諸種ノ
統計表其他常識修養ニ資スベキ圖表類ノ揭示陳列ヲ

ハ最緊要ナリトス然ルニ右科ニ屬スル設備尙不足セ
ル向多シ即農業科ニ於ケル農園農舍堆肥場農具ノ設
備手工科ニ於ケル手工器具標本ノ設備ニツキテハ土
地ノ狀況ニヨリ一層ノ整備ヲ圖ラントヲ望ム

四 青年會館並教員住宅設備ニ關スル件

青年會館又ハ部落公會場ハ可成町村内各地方ニ及ボ
シテ之ヲ建設シ以テ各種ノ集會場ニ充用セシムベシ
其設備ノ如キハ固ヨリ宏壯華美ヲ避ケ可成質素ニ建
築スルカ又ハ寺院其他相當建物ヲ利用スル等ノ方法
ヲ取ルベシ又會場ノ一部ヲ小學校教員住宅ニ充テ、
教員ヲ常住セシムルハ學校兒童ノ監督乃至青年指導
及社會教化上利便少シトセズ漸次實施ヲ望ム

五 學校衛生ニ關スル件

本郡ニ於テハ學校醫ヲ設置セザル町村尙少カラズ右
ハ學校衛生上支障少カラザレバ悉ク設置アラント
ヲ望ム各町村設置ノ曉ニ於テハ學校醫集會ヲ開設シ
兒童身體検査上ノ統一ハ勿論トテホーム治療方及教
員身體検査等學校衛生上ノ發達ヲ圖ラントス

六 學齡兒童保護會ニ關スル件

學齡兒童保護會ノ設アルモノ萩、椿郷東分、篠生、

生雲、徳佐、吉部、福川、大井、田万崎ノ九ヶ町村ナリ右ハ大正四年一月告示小學校學令兒童就學出席獎勵規程ニヨリ獎勵金下附ノ次第モアレバ未設ノ町村ニ於テハ速ニ之ガ設立ヲ見ルニ至ランコトヲ望ム七農會ノ活動ニ關スル件

村農會ニシテ會費ヲ徵收セズ村費補助金ニノヨリテ會ヲ維持スル向アリ農會活動上頗ル遺憾ノコトナリトス之レ等農會ニ對シテハ各位ノ熱心ナル努力ヲ求メテ大正五年度ヨリ會費ノ徵收ヲ現實ニシ相當事業ヲ施行シテ農事ノ改良發達ヲ圖リ以テ國利民福ヲ増進スベク指導セラレタシ

八上地出願ニ關スル件
上地出願ニ對シテ常ニ督促ヲ怠ラザルモ尙ホ別表配付ノ通り未済ニシテ古キハ明治二十九年ニ屬スルモノアリ速ニ手續履行セシメラレタシ(別表略ス)

協 議 事 項
一、町村聯合物産品評會開催ニ關スル件
大正五年度ニ於テハ左記聯合ニ依リ物産品評會ヲ開催スベク協議ヲ遂ゲタリ
一、萩 町 山田村 三見村 椿郷東分村

定セリ
協定事項
一、開催地及時期 小學校長集會ニ於テ協定ノコト
二、會費 一ヶ町村約五圓宛 但參會兒童旅費ハ各町村ニ於テ適宜補助スベキコト
三、參會兒童 小學校長集會ニ於テ協定ノコト

●町村豫算台帳
兵庫縣空栗郡ニ於テハ町村豫算臺帳ト稱スル左式ノ豫算整理簿ヲ設ケ豫算ノ追加更正ヲ一見明瞭ナラシメ財務ノ整正ヲ期セリ一般參考ノ資料トシテ茲ニ之ヲ掲グ

歳入ノ部	豫 算		追 加 更 正		計
	科 目	豫算額	追加	更正	
町村税		七、八五〇			八、四〇〇
地租	一、一〇〇		100		1、100
二戸數割附加税	六、七五〇		六五〇		七、四〇〇
歳入合計		一一、六五〇			一二、100

椿 村 六島村ノ六ヶ町村聯合
一、佐々並村 明木村 川上村ノ三ヶ町村聯合
一、嘉年村 福賀村 高俣村 吉部村ノ四ヶ町村聯合
一、須佐村 田万崎村 小川村 彌富村ノ四ヶ町村聯合
一、福川村 紫福村 大井村 奈古村
宇田郷村ノ五ヶ町村聯合
一、徳佐村 地福村 篠生村 生雲村ノ四ヶ町村聯合

協定事項
一、開催地開催時期 聯合町村間協議ノ上郡當局ト打合セノ上決定ノコト
二、會費 一ヶ町村十圓宛但開催地元町村十五圓
三、出品点数 一ヶ町村約三百点(細目ハ追テ主任集會ノ際協定ノコト)

二小學校兒童聯合体育會開設ニ關スル件
大正五年度中數町村聯合ニテ小學校兒童聯合体育會ヲ開設シ平素ニ於ケル体操教授ノ統一整正ヲ圖リ兼テ兒童ノ体力氣力ノ向上ヲ期スル爲メ左記事項ヲ協

歳出ノ部	豫 算		追 加 更 正		計
	科 目	豫算額	追加	更正	
歳出合計					

●贈位辭令傳達
昨秋御大禮ノ當日特旨ヲ以テ故林喜八郎ニ從五位ヲ贈ラル一月十九日午前九時郡衙議事堂ニ於テ其ノ位記並辭令傳達式ヲ舉行シ奥山萩警察署長、平野椿村長、井町椿西小學校校長臨席、遺族喜八郎孫椿村第五百十六番屋敷林チセ(ハツ拜受)ニ對シ交付セラレタリ
故 林 喜 八 郎

贈從五位
大正四年十一月十日
宮内大臣正三位勳一等男爵波多野敬直宣

特旨ヲ以テ位記ヲ贈ラル
故林 喜八郎
大正四年十一月十日

宮 内 省

事績概要

故 從五位 林 喜八郎

字ハ謙叔名ハ尙盈ト稱フ毛利宗藩ノ士ニシテ屢々諸郡宰判ノ代官ニ任セラレ又藩府ニ奉職シテ勤功少カラス爲人弘雅識量アリ濟世ヲ以テ志トナシ常ニ人ニ語テ曰ク民食爲天食農爲本金錢之爲實人知之十日無金未必害一日不食則死農政豈可不脩乎ト文政十三庚寅八月吉田宰判代官ニ任セラル、ヤ先ツ其部内ノ狀態ヲ檢察シ人民ノ形容ヲ審カニシ且ツ戶籍ヲ案シ其ノ土地ニ比較シテ人口ノ寡少ナルヲ嘆息シ村里ノ盛衰ハ人民ノ多寡ニ關ス今部内ノ人口土地ニ比シテ少ナキハ人民困窮ノ結果其土地ヨリ離散シ人減シテ田畠益々荒廢セルニ因ルモノトナシ若シ一朝凶年飢饉ニ遭遇セハ困憊疲弊ノ慘狀濟フヘカラサルモノアルヲ豫知シ部内ノ里正ヲ召シテ懇々諭示スル所アリ乃

蓄トシテ明治十三年ノ頃迄其遺跡ヲ存續シタリキ平田淳ノ識セル謙叔社會ヲ興スノ記事アリ謙叔職ヲ奉シ恪勤精勵勤績三十有餘年能吏ノ聞ヘアリ

郡設地方改良講演會

愛知縣立農林學校長山崎延吉氏ハ大正五年一月九日ヨリ三日間開設ノ郡設地方改良講演會ニ講師トシ臨ミ自治民育ト題シ町村吏員小學校教員縣郡會議員神職僧侶青年會員在郷軍人會員其ノ他一般有志者ニ對シ有益ナル講演ヲナセリ講師ノ豊富ナル材料ニヨル講演ハ一般聽者ヲシテ多大ノ趣味ト熱心トヲ以テ聽取セシメ郡設地方改良講演會トシテ未曾有ノ盛況ヲ呈シ本郡自治民育發展上ニ至大ノ効果アルヲ認メタリ

緒言 地方ノ責務

地方トハ何ソヤ 地方ハ國家ノ基礎ナリ

地方ノ現狀 地方ノ四大責務

第一章 自治ノ振興

自治要義 自治事務

自治振興ト機關

第二章 財源ノ涵養

チ倉庫ヲ設ケ平素餘裕アル者ヲシテ其ノ分ニ應シテ麥ヲ出サシメ之ヲ其ノ倉庫ニ蓄ヘ共同救濟ノ資ニ充ツ其ノ仕法順序固ヨリ規程アリ謙叔此ノ計畫成ルニ及ンテ之ニ意見ヲ付シ上司ニ建議シ其許容サル、所トナリテ實行セリ之ヲ社會ノ濫觴トス當時此事未ダ注意ヲ拂フモノナク又諸郡ニ行ハレサリシ然ルニ爾後數年ヲ經過シ天保七丙申ノ歲秋穀不登安藝國以西水害ヲ被リ而テ防長尤モ甚シ翌年春穀又不熟兩歲ノ間穀價頗ル騰貴シ諸物從テ昂ル人民ノ困厄名狀スベカラズ中以下ノ民ニアリテハ累月粒食ナク奔走流移到處皆然ラサルハ莫シ其ノ老幼堅ニ轉シ其少壯涕泣隣ミナ衢ニ丐フ者千ヲ以テ之ヲ數フ官救急賑アラサルナク吉田宰判ハ此時ニ當テ社會ヲ救急キ之ヲ賑恤ス故ニ部内ノ民ハ春夏飢ヲ濟フコト五十日活ヲ全フスルモノ四千入途ニ餓斃ヲ見ス家ニ愁恨ノ聲ナシ此事藩府ニ達シ藩公謙叔ヲ召シ之ヲ賞シ賜フニ白金五錠ヲ以テス且ツ社會ノ創立ニ關シタル縣吏府胥里正主倉ノ輩ニ至ル迄之ヲ賞セラル此年藩府ヨリ諸郡ニ告諭ヲ發シテ社會ヲ興サシム數年ノ後至ル處村里社會ノ設立ヲ見復タ昔日ノ悲惨事ナシ廢藩置縣後備荒貯

財產ノ増成 徵稅ノ簡捷
民力ノ充實 勤儉貯蓄
機關ノ整備ト活動

第三章 民育ノ振張

民育ノ普及 學校教育ト社會教育
民育ノ長所 民育ノ機關

第四章 結論

因ニニ講習出席者町村別ヲ掲ケレハ左ノ如シ

郡設地方改良講演會出席者

町村名	町	村	吏員	議員	教員	神職	僧侶	區長	青年會員	在郷軍人	其他	計
秋分郡	八	一〇	七	二	七	一	二	四	一〇	六	一	一
東	六	三	一	二	一	〇	二	五	一	四	一	二
椿	四	四	九	二	一	〇	二	五	一	四	一	二
山田	三	七	三	二	一	〇	二	五	一	四	一	二
三見	一	三	一	二	一	〇	二	五	一	四	一	二
明木	三	一	五	三	二	一	〇	二	五	一	四	一
佐並	一	二	四	一	一	〇	二	五	一	四	一	二
川上	二	四	四	一	一	〇	二	五	一	四	一	二

町村名	三年度后期	四年度后期	増	減	百分比ノ増減	三年度后期	四年度后期	増	減	百分比ノ増減
福川	八七一	二二			一					
紫井	五九一	二二			一					
大井	五四七	二八			一					
奈古	八〇〇	二二			一					
宇田	三九一	二二			一					
福賀	六二四	二八			一					
須佐	一、〇六〇	二八			一					
彌富	五四三									
小川	一、〇〇八									
田崎	七九五	一五			一					
六島	二七九									
見島	三九五	二一			一					
計	三、六四〇	二六三			一					

町村名	単ニ清潔方 法ヲ施シタ ル戸數	全上檢 査ノ結 果ヲ再シ テ果 シテ再 シテ再 シテ再 シテ再 シテ再	消毒方 法ヲ施 タル戸 數	全上檢 査ノ結 果ヲ再 シテ再 シテ再 シテ再 シテ再	清潔方 法ヲ施 タル戸 數	消毒方 法ヲ施 タル戸 數	全上檢 査ノ結 果ヲ再 シテ再 シテ再 シテ再 シテ再	消毒方 法ヲ施 タル戸 數	全上檢 査ノ結 果ヲ再 シテ再 シテ再 シテ再 シテ再	消毒方 法ヲ施 タル戸 數
萩	三、三七五	五五	二二	二五	五	五	五	五	五	五
椿郷東分	一、七八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇
山田	七五〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
三木	五七五	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
明井	四三六	四	四	四	四	四	四	四	四	四
佐々木	四六四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
川七	七三六	三	三	三	三	三	三	三	三	三
篠生	五一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
地福	九七四	二	二	二	二	二	二	二	二	二
德佐	六四四									
嘉年	一、二五〇	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
高侯	五八〇	二	二	二	二	二	二	二	二	二
吉部	五九〇	三	三	三	三	三	三	三	三	三
計	五七二									

◎大正四年度后期縣稅成績
 大正四年度后期縣稅納稅成績ヲ前年度后期ニ比較スルニ、全部ニ於テ人員壹割六分稅額九錢貳厘ノ滯納ヲ減シタリ而シテ川上、徳佐、福川、紫福ノ四ヶ村ハ前期ニ於テハ少數ノ滯納アリタルモ本期ニ於テハ全部完納トナリ之レニ前期ヨリノ完納ノ明木、佐々木、六島、見島ヲ加ヘテ全部完納八ヶ村ニ及ベリ又高侯、椿、萩、吉部、田万崎、嘉年、山田、三見ヲ除クノ外ハ何レモ稍良好ノ成績ヲ示スニ至レリ宜シク町村當局者ニ於テハ今後十分督勵ヲ加ヘ完納ヲ期スルヲ要ス

◎財務

物皆用アリ

大正三年度后期縣稅納稅成績比較表

町村名	國		縣		町		村	
	三年后期	四年前期	三年后期	四年前期	三年后期	四年前期	三年后期	四年前期
萩	八二、一四〇	三四、一六〇	二五七、〇一〇	二二九、四五四	七六〇、四六〇	五二〇、四六〇	五七七、六〇〇	三、六九四、八八五
椿郷東分	二五〇	一四、四六〇	四四、四五〇	四九、七六〇	三五、七〇〇	五、〇〇二、八三五	五、四四〇、一〇〇〇	二、九五七、〇六〇
山田			七、六九〇	九、四八〇	六、八一〇	八三、四八〇	一六〇、四五〇	六四、八六〇
三見	五、七〇〇		五五、九一〇	四三、五四〇	五〇、〇三〇	二七四、四七五	八六二、七六五	一、一六六、七〇〇
明木			三、一六〇	一〇〇	一、一七	七三五、五〇〇	二八六、〇一〇	五〇九、三三〇
佐並			一、六四〇	一、五四〇	一、八九〇	五二、〇一〇	一三三、一五〇	
川上								

一九

大正三年度后期及四年度前后期納稅滯納比較表

(同一行中右側數字ハ人員左側ハ稅額)

町村名	國		縣		町		村	
	三年后期	四年前期	三年后期	四年前期	三年后期	四年前期	三年后期	四年前期
小川	一三、三五〇	八五〇	〇、五〇九	〇、五〇九	二	一三	〇、四一	〇、四一
田崎	二四、四〇〇	二七、六一五	〇、一六八	〇、一六八	五三	六	〇、一五	〇、一五
六島								
見島	五六、八九〇	五〇一、八五五	〇、〇九二	〇、〇九二	七八四	一一〇	〇、一六	〇、一六
合計								

町村名	國		縣		町		村	
	三年后期	四年前期	三年后期	四年前期	三年后期	四年前期	三年后期	四年前期
山田	五六、〇五〇	五〇、〇三〇	〇、二二	〇、二二	一〇三	一〇四	〇、四	〇、四
三見	二、四一〇	一、四六〇	〇、六五	〇、六五	四	二	〇、一〇	〇、一〇
明木								
佐並	一、六四〇		〇、一〇一	〇、一〇一	三	三	〇、五一	〇、五一
川上	二〇、七〇〇	一三、九三〇	〇、四七四	〇、四七四	二八	三	〇、四七	〇、四七
生雲	一、三三〇	三、六九〇	〇、三三〇	〇、三三〇	二〇	二	〇、三九	〇、三九
地福	六、五七〇	四、九一〇	〇、〇八〇	〇、〇八〇	一五	一	〇、四四	〇、四四
徳年	〇九〇		〇、〇〇一	〇、〇〇一	三	一	〇、〇八	〇、〇八
嘉侯	二、六九〇	二、八一五	〇、〇七	〇、〇七	六	一	〇、〇二	〇、〇二
高部	九、八二〇	二七、五九〇	一、三三七	一、三三七	二二	二	〇、五六	〇、五六
吉川	六、六八〇	九、八四〇	〇、二一九	〇、二一九	二一	一	〇、一二	〇、一二
福井	五、六五〇		〇、三二六	〇、三二六	七	一	〇、〇三	〇、〇三
紫井	七、八四〇		〇、四〇三	〇、四〇三	二	一	〇、五四	〇、五四
大井	二〇、二四〇	一一、一一〇	〇、五六四	〇、五六四	三七	一	〇、二七	〇、二七
奈古	二四、五〇〇	一九、六三〇	〇、二四一	〇、二四一	三	一	〇、二九	〇、二九
字賀	二、七〇〇	一、〇三〇	〇、一四四	〇、一四四	五	一	〇、〇二	〇、〇二
福賀	二、四三〇	二、一八〇	〇、九七七	〇、九七七	三	一	〇、〇二	〇、〇二
須賀	八、三〇〇	五、四五〇	〇、一八七	〇、一八七	一七	一	〇、五四	〇、五四
彌須								

一八

郡市別	尋常高等	平均	尋常高等	平均	尋常高等	平均
大島郡	一七、二六六	二〇、二五〇	一〇、五〇〇	二二、〇〇〇	一〇、八〇〇	一〇、二二一
玖珂郡	一八、一〇七	二一、七五〇	九、二〇〇	二〇、三七五	一〇、〇二九	九、八三三
熊毛郡	一七、二九三	二四、一五一	九、一〇〇	二一、二六七	一〇、四〇〇	一一、三二六
都濃郡	一八、三五〇	二二、七七〇	一一、五〇〇	二二、〇〇〇	一一、八七五	一〇、一七六
佐波郡	一七、八五五	二四、一五〇	一一、〇〇〇	二二、八八九	一一、六四〇	一一、六四〇
吉敷郡	一八、九七九	二二、八三三	一一、四四四	二一、四九二	一一、四三三	一六、〇〇〇
厚狹郡	一八、六七三	二二、四七五	一一、六二五	二一、六五三	一一、六五三	一一、六六八
豐浦郡	一七、八一〇	二二、三六〇	九、七五〇	二二、〇〇〇	一一、四六六	一一、六〇〇
美禰郡	一七、四九四	二二、六六七	九、五〇〇	二〇、七七八	一一、五四五	一一、〇七五
大津郡	一八、三三六	二二、三六三	九、六二五	二〇、六三三	一一、〇四三	一一、〇二六
阿武郡	一八、三七七	二二、七六〇	一〇、三二二	二〇、四二九	一一、三三三	一一、三三七
下關市	二二、〇六四	二六、七七八	一一、〇〇〇	二四、〇〇〇	一一、〇〇〇	一一、五六三
合計	一八、二四二	二二、〇六四	一〇、四〇五	二一、五六九	一一、一五三	一一、〇八二
参照表 青目現在	一八、五九〇	二二、七五八	一〇、八四〇	二二、三四三	一一、六〇八	一一、四八一

市町村立小學校教員月俸平均額 (勤務別)

大正四年十月一日現在

(町村平均 一七、六八六)

郡市別	本科正教員		專科正教員		准教員		代用教員	
	尋常高等	平均	尋常高等	平均	尋常高等	平均	尋常高等	平均
大島郡	一七、二六六	二〇、二五〇	一〇、五〇〇	二二、〇〇〇	一〇、八〇〇	一〇、二二一	九、五七九	一四、六六七
玖珂郡	一八、一〇七	二一、七五〇	九、二〇〇	二〇、三七五	一〇、〇二九	九、八三三	七、四五三	一四、二五〇
熊毛郡	一七、二九三	二四、一五一	九、一〇〇	二一、二六七	一〇、四〇〇	一一、三二六	九、五二四	一二、〇〇〇
都濃郡	一八、三五〇	二二、七七〇	一一、五〇〇	二二、〇〇〇	一一、八七五	一〇、一七六	八、〇三四	九、六三六
佐波郡	一七、八五五	二四、一五〇	一一、〇〇〇	二二、八八九	一一、六四〇	一一、六四〇	九、六四三	九、〇〇〇
吉敷郡	一八、九七九	二二、八三三	一一、四四四	二一、四九二	一一、四三三	一六、〇〇〇	九、〇〇〇	一一、〇〇〇
厚狹郡	一八、六七三	二二、四七五	一一、六二五	二一、六五三	一一、六五三	一一、六六八	一一、二一八	一一、〇〇〇
豐浦郡	一七、八一〇	二二、三六〇	九、七五〇	二二、〇〇〇	一一、四六六	一一、六〇〇	九、七七八	一一、〇〇〇
美禰郡	一七、四九四	二二、六六七	九、五〇〇	二〇、七七八	一一、五四五	一一、〇七五	八、一一一	一一、〇〇〇
大津郡	一八、三三六	二二、三六三	九、六二五	二〇、六三三	一一、〇四三	一一、〇二六	九、三六四	一一、三三三
阿武郡	一八、三七七	二二、七六〇	一〇、三二二	二〇、四二九	一一、三三三	一一、三三七	八、二二四	一一、〇六七
下關市	二二、〇六四	二六、七七八	一一、〇〇〇	二四、〇〇〇	一一、〇〇〇	一一、五六三	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇
合計	一八、二四二	二二、〇六四	一〇、四〇五	二一、五六九	一一、一五三	一一、〇八二	八、八四〇	一一、八〇〇
参照表 青目現在	一八、五九〇	二二、七五八	一〇、八四〇	二二、三四三	一一、六〇八	一一、四八一	九、四二九	一一、一六七

市町村立小學校學級數百ニ對スル本科正教員配置歩合

大正四年十月一日現在

郡市名	尋常	常	順位	高	等	順位	平	均	順位
玖珂郡	六九、四九	一〇〇、〇〇	11	一一、〇〇〇	一二、五三二	4	七四、二六	11	
熊毛郡	七二、八九	一〇〇、〇〇	10	九七、六二	一〇〇、〇〇	6	七八、〇六	9	
都濃郡	六六、〇一	一〇二、五六	12	九七、六二	一〇二、五六	9	七〇、五一	12	
佐波郡	八五、一五	九六、七七	2	九六、七七	九六、七七	3	八七、九七	2	
吉敷郡	九五、二二	九八、〇四	1	九五、二七	九五、二七	10	九五、五三	1	
厚狹郡	七三、二七	九八、〇四	9	九八、〇四	九八、〇四	11	七六、八三	10	
豐浦郡	八二、七六	一〇五、〇〇	5	一〇五、〇〇	一〇五、〇〇	8	八五、二六	4	
美禰郡	七九、〇三	一〇〇、〇〇	6	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	5	八三、二〇	6	
大津郡	七七、四八	一〇〇、〇〇	7	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	2	八〇、〇〇	7	
阿武郡	七四、五五	九八、九八	8	九八、九八	九八、九八	7	七八、四六	8	
下關市	八三、九三	九四、八五	4	九四、八五	九四、八五	1	八一、一三	3	
合計	七七、七六	九四、八五	7	九四、八五	九四、八五	8	七七、六五	6	
参照表 青目現在	七四、五六	九四、八五	4	九四、八五	九四、八五	1	七七、六五	3	

◎教育成績ノ全國ニ於ケル本縣ノ地位

事	項	本縣	各府縣ノ順位	全國平均	第一位ノ府縣	調査期
學齡兒童百人中就學歩合	尋常小學校兒童百人中出席歩合	九三、七	八	九二、六	岡山	九三、六
本科正教員平均月俸	尋常小本正教授	一六、〇一〇	一七	一七、七〇四	東京	一七、〇〇六
正教員對學生	高等教授	二二、二〇三	一六	二二、九二六	東京	二二、四五〇
人口一人ニ付	公學費負擔額	七六、九一	一七	七五、〇四	石川	九六、五
公立中學校	高等學校入學	一、二〇三	二七	一、二六三	滋賀	一、八二三
私立中學校	專門學校入學	三	二五	二四	東京	二四
畢業生狀況	陸軍士官候補生	三	二一	七	東京	七
同	海軍諸學校入學	一	二	一	東京	二
同	師範學校	五、四〇	五	五、〇六	奈良	五、四
對現住人口十萬ニ	公立中學校	二六、〇〇四	七	二九、三六	東京	二六、〇〇
同	公立高等女學校	三、七、二	五	一五、〇九	東京	三、七、五
同	甲種農業學校	三、三	三十一	二、四〇	群馬	七、五
同	甲種商業學校	四、〇、三	十九	四、〇、七	東京	一三、三
同	實業補習學校	四九、九、二	三十	六七、三	長野	二、四四、七

◎兒童出席歩合

大正四年十一月分

學校名	別	出席百分	男女合併出席百分比例	順位	本月	前月
野呂	女	九九、六〇	九九、五八	一	一〇	一四
野呂	男	九九、五三	九九、四三	二	九	七
長高	女	九九、二七	九九、一八	三	八	六
長高	男	九九、一八	九九、〇九	四	七	五
明木	女	九九、〇九	九九、〇〇	五	六	四
明木	男	九九、〇七	九九、〇〇	六	五	三
立野	女	九八、七六	九八、六三	七	四	二
立野	男	九八、六三	九八、五五	八	三	一
福川	女	九八、六三	九八、四〇	九	二	〇
福川	男	九八、六三	九八、四〇	一〇	一	〇
椿西	女	九八、九三	九八、八〇	一一	〇	〇
椿西	男	九八、九三	九八、八〇	一二	〇	〇
越濱	女	九七、四一	九七、三六	一三	〇	〇
越濱	男	九七、四一	九七、三六	一四	〇	〇
福田	女	九八、〇一	九七、七六	一五	〇	〇
福田	男	九八、〇一	九七、七六	一六	〇	〇
龜山	女	九八、〇三	九七、五六	一七	〇	〇
龜山	男	九八、〇三	九七、五六	一八	〇	〇
字田	女	九六、三二	九七、三八	一九	〇	〇
字田	男	九六、三二	九七、三八	二〇	〇	〇

椿	高	宇	越	明	紫	龜	福	福	野	立	長
西	瀬	田	濱	木	福	山	川	田	呂	野	高
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男

九七、四八〇	九八、一〇四	九八、四〇七	九八、九四一	九八、六二四	九八、四四四	九七、四〇八	九八、七八八	九八、五二四	九八、八八九	九九、三二二	九九、七〇五
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

九七、七六	九七、八〇	九八、〇三	九八、一八	九八、四〇	九八、四二	九八、五〇	九八、八七	九八、八九	九九、二二	九九、三二	九九、四一
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二
----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---

六	二	〇	七	三	二六	九	五	八	一	四	二
---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---

多	奈	木	椿	佐	明	下	三	持	篠	川	鈴
磨	古	間	東	並	倫	川	見	坂	目	上	野
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男

九五、三六〇	九五、三三五	九五、七〇〇	九五、五五五	九六、五八六	九六、一八	九六、九七	九六、一八	九七、〇一	九七、七六	九七、七六	九八、八一
--------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

九五、四四	九五、六五	九五、六六	九六、一七	九六、二二	九六、二二	九六、二四	九六、六〇	九六、七一	九七、二一	九七、四九	九七、五九
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

二五	二四	二三	二二	二二	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

一五	三二	二〇	一八	一三	一四	一七	一九	三三	一一	一六	二七
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

三三

彌	持	奈	吉	上	藏	生	鈴	紫	大	相	篠
富	坂	古	部	小	目	雲	野	福	井	島	生
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男

九一、三〇六	八六、五九	九一、八四一	九四、四三三	九一、五三三	九四、二八	九一、四六	九三、四九	九〇、六五	九三、〇〇七	九四、四七	九三、六九
--------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------

九二、七八	九三、〇七	九三、〇七	九三、一九	九三、二六	九三、四四	九三、六五	九三、六七	九三、七七	九四、三三	九四、三八	九四、五三
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

三三	二九	二三	二八	三一	二六	三〇	三四	二七	一九	三七	二〇
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

大	島	田	英	島	川	水	侯	年	福
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男

九九、〇七八	九九、八八	八五、九二〇	九二、三〇	八九、〇五	八九、二七	八七、四〇	九一、三二	八六、一九	八八、二四	八七、五八	九三、〇五
--------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

九九、五〇	九九、五〇	八八、七四	八九、一七	八九、三九	九〇、〇五	九〇、一一	九〇、六三	九〇、八七	九〇、八七	九一、八三	九一、八三
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

一	一	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五	三五	三五
---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

一二	一二	四〇	三六	四一	三五	三八	四二	三九	三九	三二	三二
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

◎兒童出席歩合

總合計出席歩合 九四、七五 前月 九五、二六

大正四年十二月分

學校名	別	出席百分例	男女合併出席百分比例	順位	
				本月	前月

三六

彌	半	育	地	相	生	嘉	高	上	篠	德	大
富	田	英	福	島	雲	年	侯	小	生	佐	井
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
八九、一八	九一、二八	九三、一七	九三、五二	九三、四三	八九、五三	九七、二五	九三、七九	九二、二八	九四、七五	九三、〇六	九三、七五
九〇、一三	九二、三一	九二、四二	九二、四四	九三、三九	九三、六五	九三、七九	九三、九二	九三、九五	九四、七四	九四、九六	九五、三〇
三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六
三四	四二	四一	三五	二四	二八	三六	三七	三〇	二三	二二	二五

彌	半	育	地	相	生	嘉	高	上	篠	德	大
富	田	英	福	島	雲	年	侯	小	生	佐	井
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
八九、一八	九一、二八	九三、一七	九三、五二	九三、四三	八九、五三	九七、二五	九三、七九	九二、二八	九四、七五	九三、〇六	九三、七五
九〇、一三	九二、三一	九二、四二	九二、四四	九三、三九	九三、六五	九三、七九	九三、九二	九三、九五	九四、七四	九四、九六	九五、三〇
三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六
三四	四二	四一	三五	二四	二八	三六	三七	三〇	二三	二二	二五

總合計出席歩合 九五、三五 前月九四、七五

●兵 事

敗軍ノ時ハ其ノ憂悶ノ度 勝利ノ時ニ均シ

●將校生徒志願者

本郡ニ於ケル將校生徒志願者ハ逐年其數ヲ増加シ其合 格採用數ノ如キモ亦其數ヲ増シ尙武心ノ向上發展ヲ證 スルニ足レルハ喜ブベキ事ニシテ今其ノ志願者數ヲ各

町村別ニ掲記セハ左ノ如シ 大正五年度將校生徒志願者

萩	椿	山	三	明	佐	川	篠	生	地	德	嘉	高	吉	福
椿郷東分	山田	三見	明木	佐並	川上	篠生	生雲	地福	德佐	嘉年	高侯	吉部	福川	
一八	三六	二二	二二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三														
九														
一五	三三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

●將校演習

本月十六日阿武郡會議場ニ於テ阿武大津兩郡内將校團 員會合山口聯隊區司令官小野田中佐ハ全副官吉田大尉 ナ帶同シテ午前八時臨場兵棋演習ヲ執行セリ當日ノ參 集將校ハ國弘北川兩大佐ヲ始メ各將校三十有余名ニ達 シ岡村郡長兵事係員ヲ隨ヘ陪觀セリ

●召集實施事務檢閲

本月十七日山口聯隊區司令官小野田中佐ハ全副官吉田大尉帶同阿武郡役所ニ出頭午前七時五分宿直ニ擬動員令ヲ交付シ陸軍召集事務實施豫行演習ヲ行ヒ具ニ之ヲ檢閲セリ當日令狀發送徵發通達書ノ處理等約三時間内ニ終了シ多ク錯誤滯滞ヲ來サス十時小野田司令官ノ講評并將來ニ對スル注意希望ノ口演アリ

◎海軍兵検査

本郡ニ於ケル海軍志願兵志願者検査所ハ從來萩町ノ一ヶ所ナリシカ本年ハ受檢者ノ利便ヲ計リ更ニ二ヶ所ヲ増加シ左記ノ通り検査執行ノコトニ決定セリ

検査年月日	検査場所	検査區域町村
-------	------	--------

大正五年	萩町	萩町、椿郷東分村、椿村、山田村、三見村、明木村、佐々並村、川上村(八ヶ町村)
二月六日	阿武郡會議場	福川村、紫福村、大井村、奈古村、六島村、見島村(六ヶ村)
全月七日	須佐村	宇田郷村、福賀村、須佐村、彌富村、小川村、田万崎村(六ヶ村)
全月九日	育英尋常高等小學校	

◎勸業

小サキ餌大ナル魚ヲ得

全月十二日 地福村 地福尋常高等小學校 篠生村、生雲村、地福村、徳佐村、嘉年村、高俣村、吉部村(七ヶ村)

◎養蠶戸數

大正四年養蠶ヲナセシ戸數調左ノ如シ

町村名	戸數	養蠶戸數	農家總戸數ニ對スル百分比
川上	三六	四	一一
篠生	二二	一	四
生雲	二五	一	四
地福	八	一	一二
徳佐	二四	一	四
嘉年	二	一	五〇
高俣	一〇	一	一〇

◎夏秋蠶繭實收高

右表ニ據ルハ蠶業實施ノ余地甚マ大ナリ當局者ノ獎勵ト當業者ノ奮勵ヲ望ム

町村名	夏			秋		
	戸數	數量	價額	戸數	數量	價額
吉部	六六	一三	一七	三四	六〇	一〇
福川	一四〇	二七	三三	六〇	一〇	一七
紫福	一六〇	三〇	三七	三〇	一〇	一七
大井	六六	一三	一七	三〇	一〇	一七
奈古	三三	七	三	一	一	一
宇田郷	三三	七	三	一	一	一
福賀	五七	一二	一六	二、六〇	三	三
合計	二、六〇	四七	五七	一、五〇	三〇	四七

町村名	前年ニ比シ夏繭ニアリテハ飼育戸數十八戸減少セルモ
川上	一、四六二
篠生	一、二四〇
生雲	一、一四〇
地福	一、一〇〇
徳佐	一、一〇〇
嘉年	一、一〇〇
高俣	一、一〇〇
吉部	一、一〇〇
福川	一、一〇〇
紫福	一、一〇〇
大井	一、一〇〇
奈古	一、一〇〇
宇田郷	一、一〇〇
福賀	一、一〇〇
須佐	一、一〇〇
彌富	一、一〇〇
小川	一、一〇〇
田万崎	一、一〇〇
合計	一、一〇〇

數量拾六石増加シ價額千參百拾四圓減少セリ秋蠶ニ
アリテハ飼育戸數參百貳拾九戸數量八拾壹石價額參千
六百參拾圓増加セリ

●屑繭整理傳習開設狀況

主催村	開設月日	生徒數	教師氏名
明木村農會	自六月二十五日 至六月二十九日	二五	山口縣農業技手 藤本アヤ
地福村農會	自八月十四日 至八月十四日	二〇	河野ツネ
高俣村農會	自九月十一日 至九月十二日	一五	山田ウメ
川上村農會	自九月二十五日 至九月二十五日	二〇	山田ウメ
彌富村農會	自十一月二十五日 至十一月二十五日	一五	山田ウメ
奈古村農會	自十二月二十五日 至十二月二十六日	一六	山田ウメ

郡農會開蠶業講習會開設狀況

開設場所	開設月日	生徒數	講師氏名
彌富村	自十一月二十四日 至十一月三十日	四二	山口縣農業技手 長見順吉

●村農會基本財産

大正三年度末現在村農會ノ基本財産左ノ如シ

町村名	種別	金額
福賀	現金	三三〇、三九
須佐	現金	一四、六六
彌富	貯金	(九五圓)
小川	貯金	(四六、六六四圓)
田崎	債券	(五圓)
合計	現金	三、九七、三三

●大正四年度村農會々々費徵收狀況

印ハ會費ヲ徵收セサルモノ

町村名	種別	金額
椿郷東分	戸別割 一反歩二付 地價割	五厘五毛
山田	反別割 畑一反歩二付 原野全	七厘五毛
三見	反別割 畑一反歩二付 全地價百圓二付	一一錢
明木	反別割 畑一反歩二付 全地價百圓二付	一一錢
佐並	反別割 畑一反歩二付 全地價百圓二付	一一錢
川上	反別割 畑一反歩二付 全地價百圓二付	一一錢
篠生	反別割 畑一反歩二付 全地價百圓二付	一一錢
地生	反別割 畑一反歩二付 全地價百圓二付	一一錢

町村名	金額	備考
椿郷東分	二〇、六〇〇圓	現債券 (二〇〇圓)
山田	三四五、〇〇〇	山林積價額 (四五反)
三見	二、〇〇七、七三六	桑園積價額 (二五圓) 杉 (一、六五〇圓)
明木	二、〇〇七、七三六	桑園積價額 (二五圓) 杉 (一、六五〇圓)
佐並	五、一三四貯金	
川上	二五、四九五貯金	
篠生	三二、二七六貯金	(三二四、三八一圓)
地福	七四、〇九〇貯金	(六、八九七圓)
高俣	九〇、八三〇全	
嘉年	三、五六〇全	
吉部	二七、〇〇貯金	
福川	一七六、三四四銀行預金	(六六、一六五圓)
大井	五、〇〇〇現金	(二、一〇、一六九圓)
奈古		
宇田		

町村名	金額	備考
德年	〇	
嘉年	〇	
高俣	一錢六厘	
吉部	四八錢	
福川	一錢六厘	
紫井	四錢九厘八毛	
大井	三厘二毛五	
奈古	一錢五厘	
宇田	二錢五厘	
福賀	二錢	
須佐	二錢	
彌富	一錢	
小川	一錢	
田崎	一錢	
右表ニヨルハ會費ヲ徵收セサルハ僅カ六ヶ村ニ過キ ズ相當會費ヲ徵收シ一般會員ノ利益トナルヘキ事業ヲ 施行シテ農會ノ活動ヲ促サレシメテトシ望ム		

大正五年一月三十日印刷
全年全月卅一日發行

發行所 山口縣阿武郡役所

山口縣阿武郡萩町第二千二百六番屋敷

印刷所 株式會社萩響海館

